



Third party verified  
Environmental Product Declaration

Conformance with  
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



株式  
会社

サイプレス・スナダヤ

Cypress Sunadaya CO., Ltd.

## 構造用集成材（ヒノキ・スギ）

Structural Glued Laminated Timber（Cypress & Cedar）



登録番号  
SuMPO-EPD-2512-33-1

検証合格日  
2025/12/5

公開日  
2025/12/19

検証有効期間  
2030/12/4

EPDタイプ  
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格  
ISO21930:2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。  
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。  
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

## ●基本情報

### >プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

### >GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品 Core-PCR v2.0.1
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/03/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/03/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

### >検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	梅原 由美子（Value Frontier株式会社）		

### >準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

## ●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社サイプレス・スナダヤ生産本部
住所	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1
問い合わせ先	0898-72-2421
LCA算定実施者（所属）	株式会社ヴォンエルフ
事業者概要	サイプレス・スナダヤは地元で豊富に存在する資源である桧に注目し、今日では桧の製材・集成材の生産量としては日本最大手となります。更にCLTという新しい建築資材の普及を通じて、林産資源の好循環・好環境型ビジネスの確立を目指しています。

## ●製品情報

製品名称		構造用集成材（ヒノキ・スギ）		
製品の型式		JAS構造用集成材		
製品仕様	製品機能	建材として使用される木質材料		
	製品質量	439.97kg ※対象期間の生産による算定値	換算係数	439.97kg/m3 （ヒノキ及びスギ）
	製品の用途	建物等の梁、柱、土台などの構造部材		
	技術性能	集成材JAS規格に準拠した木質建材		
RSL(基準 使用年 数)	年数	建物等の使用期間に準ずる		
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる		
	年数を設定した根拠	ー		
製造サイト（製造拠点）		東予インダ ストリアルパーク工場		
製品概要		特殊な接着剤でひき板（ラミナ）を繊維方向に平行に積層接着した木材製品。全てのひき板を平行に貼り合わせて、主に軸材を構成し、現在日本で最も普及している木造住宅の工法である在来軸組工法用の建築材として、梁、柱、土台などに一般的に使用されている。		
製品ウェブサイト		<a href="https://www.sunadaya.co.jp/product/laminated">https://www.sunadaya.co.jp/product/laminated</a>		

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
木材	98.0	431.30 kg
接着剤	1.9	8.39 kg
エポキシ樹脂	0.1	0.28 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
結束バンドル	91.3	0.23 kg
パッケージシート	8.7	0.02 kg

※ 3 製品の直近1年間の生産による加重平均値にて算定した

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	211.43	775.26
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

※ 3 製品の直近1年間の生産による加重平均値にて算定した

## ●LCA 関連情報

### > EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト	<input type="checkbox"/> 複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値 <input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		全世界		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		各製品で使用する1m3あたりの原料は同一、製造サイトも日本の同一サイトであること、また全ての原料投入量、エネルギー等消費量について一次データを収集して算定評価を行っていることから代表性は確保されていると考えられる。		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果 の 上下幅に関する説明		各製品の製造は全て同一サイトで生産をされており、宣言単位1m3あたりの製造時における各種資材（接着剤を除く）・エネルギー投入量などは同一条件である。1m3あたりの接着剤投入量の差異による算定結果の差異についても対象の開示項目において上下10%以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		同一サイト・素材・プロセスで製造された太さが異なる製品を1m3あたりに換算してEPDを開示している。		

### > LCA関連情報

宣言単位	製品1m3あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	439.97kg/m3 ※対象期間の生産による算定値（ヒノキ及びスギ）		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA ver1.2.1.5		
LCIデータベース	IDEA v3.4		
特性化モデル	GWP IPCC2021 with LULUCF 100a、LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント・ライフサイクルアセスメント・要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	東予インダストリアルパーク工場		
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い	<input type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input checked="" type="checkbox"/> その他
	種類	オンサイトPPA（Power Purchase Agreement）による太陽光発電電力供給サービス	
	購入日	環境価値付帯の自家消費型のため該当なし	
	発行元	環境価値付帯の自家消費型のため該当なし	

### > 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 -：算定対象外

## > アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。製材工程、ひき板（ラミナ）の切削工程により、鋸くず、チップ、プレナー屑等の副次製品（ボイラー燃料または買い取り業者による引き取り）が発生している。これらの副次製品については、製造目的ではないためエネルギー、水等のアロケーションは行っておらず、システム境界内で対象製品がすべて負荷を負担する。

## > カットオフ

環境影響が微少でデータ収集が困難なプロセスは、PCRに記載のカットオフ基準5%を採用しカットオフを行った。

## > システム境界

PCRに基づきシステム境界の設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。  
(モジュールはA1・A2・A3が評価範囲となる)

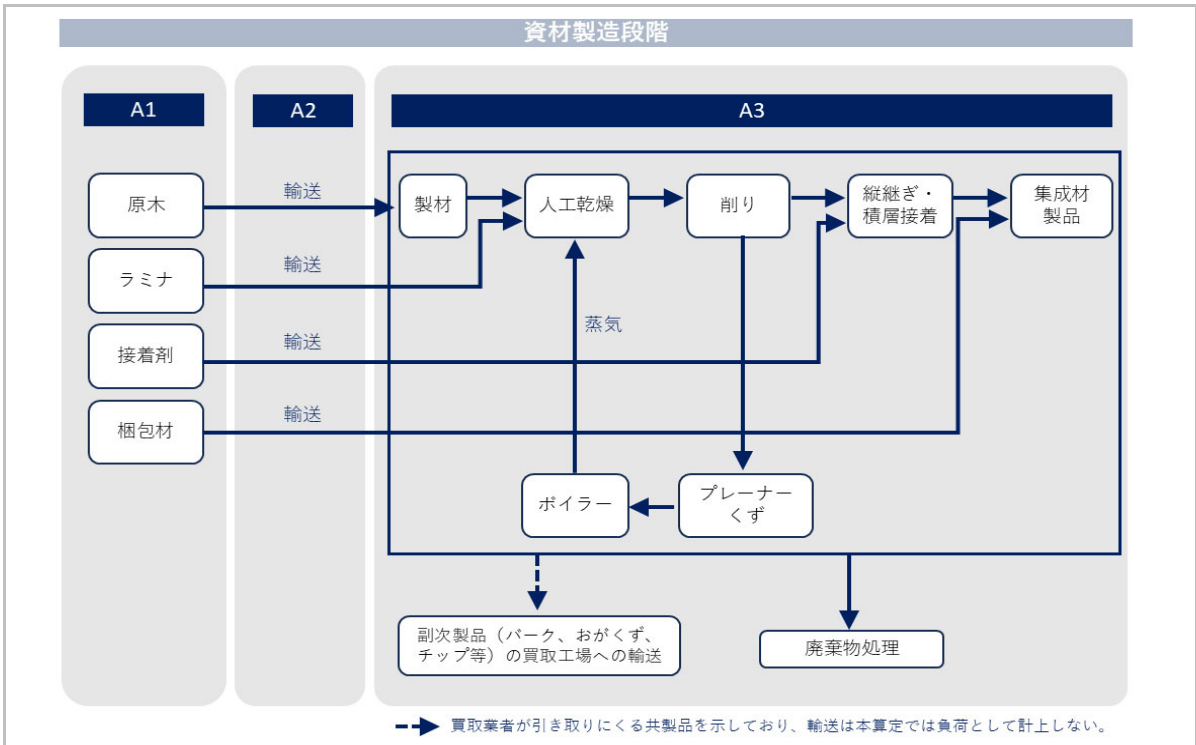
## > シナリオ

モジュール	説明
A2, A3	輸送時の車両および積載率についてはPCRのシナリオを適用した。

## > 電力モデリング

製造工場での商用電力については2021年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。また、当工場ではオンサイトPPA（Power Purchase Agreement）による太陽光発電電力供給サービス（環境価値付帯）を併用しており、こちらの電力については、2021年における日本平均のエネルギー源別太陽光発電のデータを用いた。

## > ライフサイクルフロー図



### ＞ライフサイクル影響評価結果

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報—一次資源の使用に関する指標

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報—二次資源の使用に関する指標

[illegible]

ライフサイクルインベントリ分析関連情報—非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

[illegible]

[製品関連情報](#)

[illegible]

フローに関する環境情報

[illegible]

### > LCA算定結果に関する説明

- ・A4輸送段階～A5ブ レット/施工段階～C廃棄/リサイクル段階は、利用されるプロジェクトによって異なる場合が想定されるため算定に含めない。
- ・B段階（＝製品の使用段階）は算定対象外。
- ・当該製品の算定単位あたりに貯蔵されている炭素貯蔵量は、775kg-CO2である。（CO2換算量）  
炭素貯蔵量は林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」における炭素貯蔵量計算式に基づき算出した。
- ・一次データの取得は2024年4月～2025年3月である。

## ●追加環境情報

### > LCAに関連しない追加環境情報

- ・本製品製造に投入される原木は、全てクリーンウッド法の適合木材を使用。原木を取り扱う製材工場として「第1種」の証明と木材加工品を取り扱う集成材工場として「第2種」の証明と、両方の証明を取得している。
- ・本製品はFSC及びSGECについて、認証木材が加工・流通過程で適切に管理されていることを証明するCoC認証を取得している。

### > 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
ホルムアルデヒド	50-00-0	化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
ギ酸	64-18-6	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
フェノール	108-95-2	化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
エチレングリコール	107-21-1	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート	9016-87-9	化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
ビスフェノールA型エポキシ樹脂等	25068-6, 25085-99-8等	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
トリエチレン тетраミン	112-24-3	化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

### 建材および建設製品からの危険物質の放出

本製品は日本農林規格（JAS）の定めるホルムアルデヒドの放散量に応じた4つの区分のうち、最も放散量が少ないとされるF☆☆☆☆（エフのフォースター）製品として認証されている（※）。

※認証日及び区分：2018年7月13日 低ホルムアルデヒド直交修正板／認証機関：（公財）日本合板検査会

## ●用語の定義

特に無し

## ●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services